

店舗ビジネスソリューション向け LTEルーター

概要

- ☑ コネクティビティ(ネットワーク接続)は店舗ビジネスの成功に欠かせない要素であり、決済や取引を途切れることなく円滑に処理する基盤となります。
- ☑ いかなるサービスプロバイダーも、障害のない100%完全なインターネット接続を保証することはできないのが現状です。しかし、わずか数分インターネット接続が停止するだけでも、店舗ビジネスにとっては甚大な損失につながりかねません。
- ☑ 当社の産業用4G LTEルーター「RUT951」は、有線WANの切断や障害を検知すると自動的に4Gモバイル接続へ切り替えることで、接続機器への安定したインターネットサービスを継続的に提供することができます。

課題 — 安定したインターネット接続の確保

店舗ビジネスでは、店舗・倉庫の運営や顧客体験の向上、近年では消費者分析に至るまでテクノロジーの活用が加速しています。このテクノロジーの導入は世界中で店舗ビジネスにおける最大の課題となっているのです。

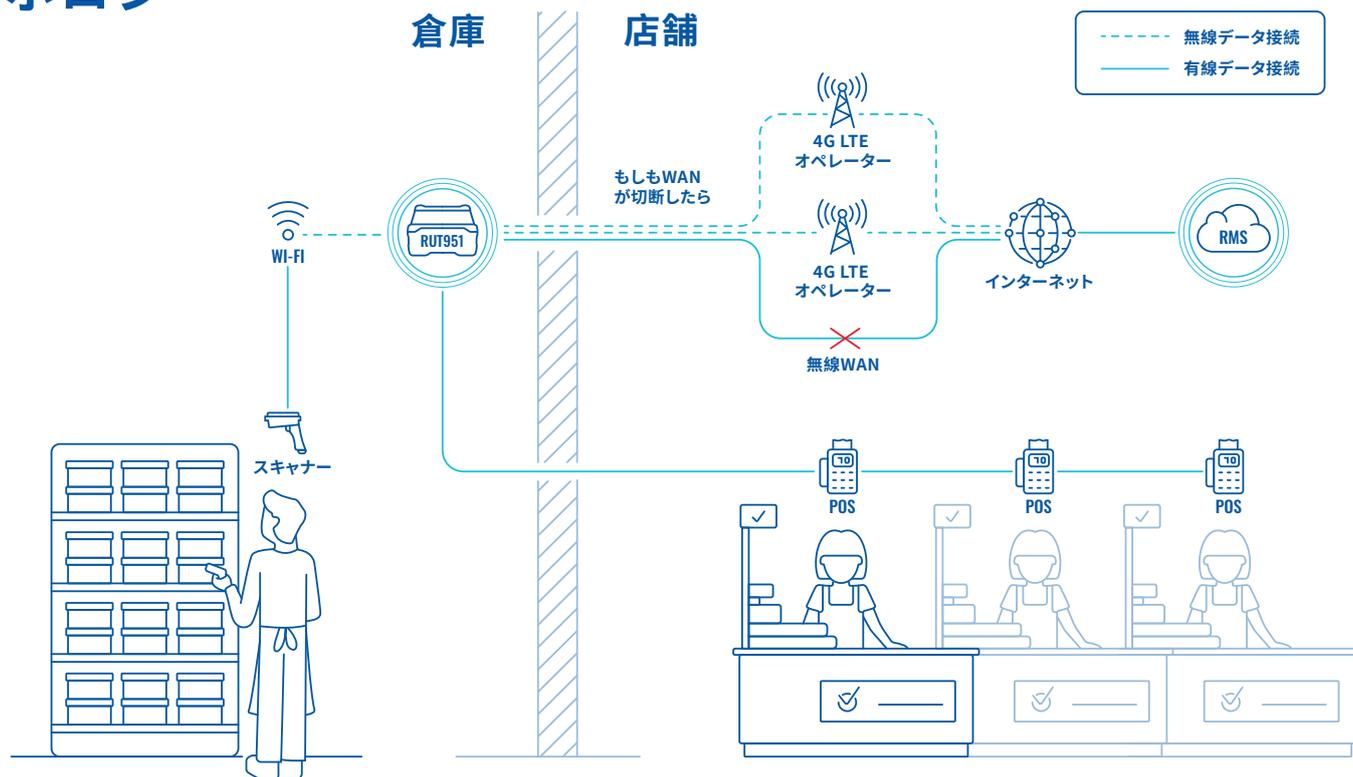
多くの店舗ビジネスでは、さまざまな支払い手段を導入しています。現金での支払いが減少する中、実店舗でのカード決済は今や必須のサービスです。

そもそも、すべてのカード決済は、決済処理や金融機関の決済ネットワークでの認証のために、常時インターネット接続が必要です。一般的なPOS(販売時点情報管理)システムは、有線・無線のインターフェースを利用して接続できる決済端末で構成されています。当然ながら、1台のPOS端末で多様な通信方式に対応しようとすると、そのぶんコストもかさみます。

加えて最近では、倉庫業務や在庫管理を効率化するためにバーコードスキャナーが欠かせません。こうしたスキャナーを在庫管理プラットフォームに接続するにはやはり、安定した無線インターネット接続が必要です。また近年では、業務の透明性と管理性を強化するため、在庫管理の自動化システムの導入が世界中で加速しています。

多くの店舗ビジネスは、地域のISP(インターネット・サービス・プロバイダー)からの有線インターネットを利用していますが、その通信品質を店舗側で完全にコントロールすることはできません。残念ながら、どのサービスプロバイダーであっても、常に安定したインターネット接続を保証するのは難しいのが現状です。そして通信障害が起きると、たとえそれが数分だけだったとしても、顧客対応や在庫管理が止まったり、カード決済ができなくなったりして売上に大きな損失が発生してしまいます。

トポロジー



ソリューション — LTEルーター「RUT951」の導入

こうした通信障害は、既存の有線WANとネットワーク接続が必要な店舗インフラの間に、モバイル4G LTEルーターを設置するだけで簡単に解消できます。この方法なら、有線回線を使いながら、POSシステムにはイーサネットで、バーコードスキャナーにはWi-Fiでネットワークを提供することが可能です。テルトニカネットワークスの「RUT951」のようなコンパクトなLTEルーター1台で、十分に対応できます。

この4G LTEルーター「RUT951」はスケーラビリティを持つのが大きな特徴です。「RUT951」を1台導入するだけで、POS端末やバーコードスキャナーなど最大100台の機器に同時にWi-Fi接続を提供できます。

安全性やセキュリティの担保も重要です。この産業用LTEルーター「RUT951」には組み込みのファイアウォールが搭載されており、IPsec、[ZeroTier](#)、PPTP、L2TP、Stunnel、DMVPN、SSTPといった多彩なVPNサービスを利用できます。これにより、銀行の中央システムや在庫管理プラットフォームへ、暗号化された安全なインターネット接続を確立できます。

言うまでもなく、信頼性はこの4G LTEルーター「RUT951」にとって最も重要な要素のひとつです。「RUT951」はデュアルSIM [フェイルオーバー機能](#) を搭載し、モバイルデータ接続が失われた場合には、自動的に別のGSMオペレーターへ切り替わります。そのため、有線WANに障害が発生しても、すぐに4G回線に切り替え、接続機器に安定したインターネットを継続的に提供します。

最後に、「RUT951」はテルトニカの遠隔管理システム「[RMS \(リモート・マネジメント・システム\)](#)」にも対応しています。このプラットフォームを利用することで、全てのテルトニカ製ルーターを遠隔で一括管理・監視でき、シンプルで効率的な運用を実現します。

